

報道関係者各位

現代版画の最先端に挑戦する作品が集う3年に1度の祭典 第4回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2025

2025年4月12日(土)に、内覧会及び授賞式が開催されました

「PATinKyoto京都版画トリエンナーレ」は、2013年に第1回展を開催して以来、2016年、2022年と回を重ねてきました。激動する世界情勢は政治や経済のみならず、アートにも大きな影響を与えています。高度なデジタル技術により、イメージの複製や印刷技術は常に進化し続けており、NFTや生成AIによる作品への介入についても議論を呼び起こしています。今日の現代版画は、伝統的な版画技法から写真や映像による空間表現にまでまたがる豊かな表現領域として独自の存在感を示しています。第4回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2025は、変容する世界情勢の中で真摯に現実と向き合い、多彩なメディアを取り込みながら創作活動を展開してきた**17組20名**の作家による作品を紹介します。**複数コミッショナーの推薦制**と、**広い展示空間の提供**を企画の2本柱に、日本の伝統文化としての版画、そして現代の版画表現の豊かさを、文化芸術都市・京都から世界に向けて発信します。



第4回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2025 【内覧会&授賞式】

- 内容 主催者挨拶、祝辞、出品作家紹介、賞状授与、テープカット、内覧会
- ご挨拶 吉田良比呂 (京都市副市長)、篠原資明 (推進副委員長、美術評論家・京都大学名誉教授)、鈴木 順也 (NISSHA財団理事長)
- ご祝辞 平山よしかず (京都市会副議長)



篠原資明 推進副委員長



鈴木順也 NISSHA財団理事長

＊ 受賞者 ＊

審査員による審査の上、優秀作品には賞が贈られました。
大賞受賞作品は主催者に寄贈後、京都市京セラ美術館に收藏されます。

大賞 (1名) [上田佳奈](#) 『particle_0006』



優秀賞 (2名)

[三宅砂織](#) 『Nowhere in blue』



[遠藤美香](#) 『柿』



一般財団法人 NISSHA 財団賞 (若干名)

[上田良](#) 『黄色コーナー (ワイングラスの眺め)』



審査員

建畠 哲(詩人・京都市立芸術大学 名誉教授)
篠原 資明(美術評論家、京都大学 名誉教授)
鈴木 順也(一般財団法人 NISSHA 財団理事長)
都築 千重子(美術史家<近代美術史> 東京国立近代美術館研究員)
青木 淳(京都市京セラ美術館 館長)
木村 秀樹(画家/版画家、京都市文化功労者)

第4回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ2025 概要

- 日時 2025年4月15日(火)～5月11日(日) 10:00～18:00 (最終入場:17:30)
- 会場 京都市京セラ美術館本館南回廊2階 (京都市左京区岡崎円勝寺町124)
- 休館日 毎週月曜日 (ただし、4月28日、5月5日は開館)
- 観覧料 一般¥1,000 (¥800)、大学生¥700 (¥500)、高校生以下無料
()内は前売、20名以上の団体料金 *障害者手帳をご持参の方(付添の方1名含む)は入場無料 (確認できるものをご持参ください)
- 主催 「第4回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ」推進委員会、一般財団法人NISSHA財団、京都市
- 後援 文化庁、ほか多数
- 公式ウェブサイト <https://patinkyoto.info>

メディア提供用 | オフィシャル素材は下記URLよりダウンロードいただけます。

<https://bit.ly/4th PATinKyoto2025>

出品作家提供による作品画像や、内覧会・授賞式の模様などの写真、ユニークな手刷りポスターの画像など

* PATinKyotoの特徴 *

- ・推薦者によって選出された**17組(20名)**の作家が出品します。
- ・従来にない画期的な**版画展**です。
- ・毎土日祝は**トークイベント**を開催します。(会場にて、出品作家や実行委員が鑑賞ガイドを実施)
- ・5月4日(日)には**シンポジウム「版画を超えて一版の拡張性と可能性」**を開催します。
テーマをもとに評論家や作家を招き専門性の高い内容を討論。
- ・伝統的な**版画から写真、立体、映像**を含む大型インスタレーションを展示。
- ・本展ポスターは、京滋の芸大生達とともに、**ユニークなシルクスクリーンによる手刷り**で制作しました。 ※リンク先で制作風景の紹介動画がご覧いただけます。
- ・京滋の芸術系大学の**教員が実行委員**となって展覧会の運営を行なっています。



出品作家

<五十音順>

■ [上田佳奈\(京都府\)](#) ■ [上田良\(神奈川県\)](#) ■ [遠藤美香\(静岡県\)](#) ■ [長田奈緒\(東京都\)](#) ■ [光嶋裕介\(兵庫県\)](#) ■ [高橋凜\(千葉県\)](#)
 ■ [チョンダウン\(東京都\)](#) ■ [野村菜美\(大分県\)](#) ■ [播磨みどり\(神奈川県\)](#) ■ [版行動\(日本\)](#) ■ [朴愛里\(埼玉県\)](#) ■ [平田尚也\(埼玉県\)](#)
 ■ [宮内柚\(東京都\)](#) ■ [三宅砂織\(京都府\)](#) ■ [宮田雪乃\(三重県\)](#) ■ [芳木麻里絵\(京都府\)](#) ■ [若木くるみ\(京都府\)](#)

作家名をクリックすると公式サイト作家プロフィール+推薦者による推薦コメントの掲載されたページにリンクします。
 作品画像は上記[オフィシャル素材のリンク](#)[出品作家関連写真]よりダウンロードしてお使いください。

推薦委員

<順不同>

■ 林聡(ギャラリーノマル・ディレクター) ■ 保坂健二郎(滋賀県立美術館 ディレクター(館長)) ■ 滝沢恭司(新潟市美術館 特任館長) ■ 沢山遼(美術評論家) ■ 五十嵐太郎(東北大学大学院工学研究科教授建築史・建築批評) ■ 千葉真智子(豊田市美術館 学芸員) ■ 小笠原正(前 上田市立美術館 館長補佐・学芸員) ■ 菅章(美術評論家・美術史家) ■ 牧口千夏(京都国立近代美術館 主任研究員) ■ 成相肇(東京国立近代美術館 主任研究員) ■ 岩淵貞哉(美術手帖総編集長) ■ 拝戸雅彦(美術史家) ■ 立花由美子(静岡大学) ■ 田中孝(版画家) ■ 立松由美子(金沢21世紀美術館キュレーター) ■ 吉岡恵美子(キュレーター、京都精華大学教授) ■ 青木加苗(和歌山県立近代美術館 主査学芸員)

本件に関する報道関係者からのお問合せ先

第4回PATinKyoto京都版画トリエンナーレ事務局 担当: 岸 TEL:090-5906-4964 Mail:patinkyoto@gmail.com

公式ウェブサイト <https://patinkyoto.info/fourth/> 公式インスタグラム <https://www.instagram.com/patinkyoto/>